

## 北海道教育大学岩見沢校 BOX (i-BOX)

市と北海道教育大学は協働で、岩見沢複合駅舎の有明交流プラザ内に北海道教育大学岩見沢校 BOX (通称：i-BOX) を開設しています。i-BOX では、学生による芸術活動の発信や地域との交流の拠点として、さまざまな活動を行っています。

i-BOX のスタッフに話を聞いたよ!

住所 岩見沢市有明町南1番地1  
有明交流プラザ内  
電話番号 35-1400  
開館時間 午前10時～午後4時(正午から午後1時までは消毒作業のため利用できません)  
休館日 年末年始 入場料 無料  
駐車場 なし(公共交通機関または付近の有料駐車場をご利用ください)



まるちゃん  
岩教大の学生がデザインした  
i-BOX のマスコットキャラクター

学生たちはアイデアをたくさん持っているし、技術力もあります。i-BOX が学生たちの成果を発信することで、市民の皆さんに岩教大の学生のいる生活を楽しんでいただければ良いとお手伝いできれば良いと思っています。

学校教員の養成大学は、教員として社会に出るといのが成果となりますが、芸術、文化、スポーツは、どれも成果を表すのが難しい分野です。学校教員の養成大学は、教員として社会に出るといのが成果となりますが、芸術、文化、スポーツは、どれも成果を表すのが難しい分野です。

市は平成16年に北海道教育大学と相互協力協定を結び、教育、芸術、文化、スポーツの分野で、協力しながらさまざまな事業を行っています。

## 北海道教育大学との連携



i-BOX 岩見沢 芳子 さん

### 「i-BOX の役割」

私は、平成27年(2015年)からi-BOX で働いていて、今は6年目です。

i-BOX の活動には、二つの柱があると思っています。一つは学生たちの作品を展示すること、もう一つは、インターネットやチラシなどを使って、岩教大のイベントの周知をすることです。

学校教員の養成大学は、教員として社会に出るといのが成果となりますが、芸術、文化、スポーツは、どれも成果を表すのが難しい分野です。

## 岩見沢の地に約100年

市内の唯一の大学である岩教大。大正12年(1923年)の設立から学校教員の養成大学として運営されてきましたが、平成26年(2014年)に芸術、文化、スポーツを専門

とする大学として再スタートしました。令和2年10月31日現在、755人の学生が在籍しています。



北海道教育大学岩見沢校(以下、『岩教大』)のことを知っていますか? 「大学があるのは知っている」という方は多いと思いますが、どれだけの学生が通い、どんなことを学び、どんな活動をしているのか、そこまでは知らないのではないのでしょうか  
今月号は、市や地域と連携し、さまざまな取り組みを行っている、岩教大にスポットを当てました

# 教育大とつながるう

問合先 企画室



市職員が出演して説明します  
12月11日(金) 午後5時40分

\*インタビューや写真撮影は、距離を取りマスクを外してもらい行っています。

### 芸術・スポーツビジネス専攻

芸術・スポーツが持つさまざまな魅力を人々の喜びにつなげるために、マネジメント知識やビジネス手法、組織の運営に関する実践力を学んでいます。



### 音楽文化専攻

芸術に対する基礎的な知識から音楽に関する専門的な知識まで幅広い視点から学び、レッスンを通して演奏技術を日々磨いています。



### 美術文化専攻

絵画、書画、工芸、彫刻などの幅広い科目から自分の目指すジャンルを探り、研究室に所属した後は少人数体制で、個人に対応したきめ細やかな指導により専門性を高めています。



### スポーツ文化専攻

競技スポーツ、フィットネス、アダプテッド・スポーツ※、アウトドア・スポーツなどの特性を科学的に研究し、スポーツ文化の専門的な知識や指導方法を学んでいます。



### アダプテッド・スポーツ

性別や年齢、体力、スポーツ経験の有無に関わらず、誰でも気軽に参加して楽しむことができるよう、ルールや用具を工夫し適合(adapt)させたスポーツのこと

### 「見るから応援に」

訪れる人は、平成21年(2009年)の開館当初は年間800人くらいでしたが、美術学生の作品展示を始めた平成24年(2012年)から増え始め、去年は5千人くらいまで伸びました。リピーターさんがとても多いのが、i-BOX の特徴だと思います。

展示を見に訪れた際に、i-BOX でスポーツの試合日程の情報を得て、「岩教大が出演する部活動の大会を観戦するようになった」という方もいます。

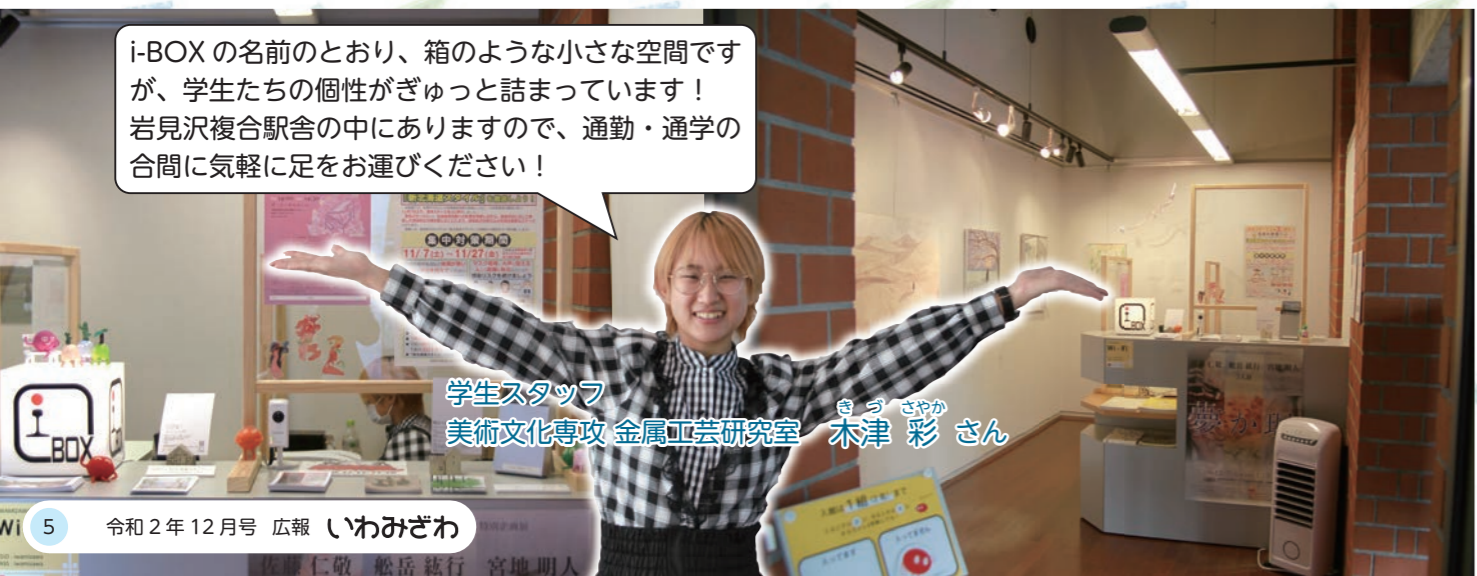
### 「つながり」

学生は発表の場があり、市民の皆さんに作品を楽しんでもらう。見てもらうことで学生たちのやる気がアップして、それがまた新しい制作につながればと思います。普段触れ合う機会が少ない市民の皆さんと学生の間に立って、それぞれの想いを伝えることで、かけ橋になれるよう奮闘中です。

### 「いつでも気軽に」

i-BOX は、学生たちの発表の場や情報を集めた拠点です。年末年始以外は、いつでもやっていただけます。気軽に来ていただきたいと思います。

i-BOX の名前のおり、箱のような小さな空間ですが、学生たちの個性がぎゅっと詰まっています! 岩見沢複合駅舎の中にありますので、通勤・通学の合間に気軽に足をお運びください!



学生スタッフ 美術文化専攻 金属工芸研究室 木津 彩 さん



森の岩ギャラリー (仮称) (令和3年1月オープン)

住所 岩見沢市緑が丘2丁目34番地1  
※開館時間や休館日などは現在検討中です。



イメージ図

令和3年1月、岩教大構内に市民交流ギャラリー「森の岩ギャラリー」(仮称)がオープンします。このギャラリーは、学生や教員による作品の展示だけでなく、地域の小・中学校や地元企業と連携した活動を展開する、地域開放型ギャラリーです。

交流拠点として

招待作家の企画展示や市民の皆さんと学生のワークショップなど、皆さんが気軽に芸術に触れられる場や市内の小・中学生の芸術教育などが行える空間として活用していきます。



岩教大では、いろんな取り組みが行われているんだね！  
これからも岩見沢市で一緒に活動できたらいいな！

多くの皆さんと、芸術、文化、スポーツを通じて関わったらうれしいです！  
これからも応援よろしくお願いします！



今月号は、知っているようで知られていない、岩教大で行われている取り組みや学生の活動を紹介しました  
今回取り上げたものはほんの一部で、岩教大と学生たちは、岩見沢市のまちづくりに欠かせない役割を果たしています  
市は今後も、芸術、文化、スポーツを中心とし、岩教大と市民の皆さんがつながることのできる場を増やしていきます

大学と地域が一体となって「あそび」

あそびプロジェクト

あそびプロジェクトは、大学と地域が一体となり、音楽・美術・スポーツの原点である「あそび」をテーマに、子どもからお年寄りまで家族みんなで楽しめるイベントです。  
学生や市内の企業・団体による芸術とスポーツにまつわる「あそび」が盛りだくさん！これまで11回開催し、毎回多くの方々に楽しんでいただいています。



今年はオンラインで！

新型コロナウイルスの状況を見ながらオンラインでの開催を検討中です。新型コロナウイルスを吹き飛ばし、みんなで楽しめるようなイベントを企画しています。詳細が決まり次第、岩教大ホームページ内に「あそびプロジェクト特設webサイト」を開設するほか、広報いわみざわや新聞折込などでお知らせします。  
日程 令和3年2月20日(土)・21日(日)  
問合せ 北海道教育大学岩見沢校 広報・地域連携グループ ☎ 32-0312

今年はオンラインでの開催になりましたが、あそびプロジェクトの「子どもからお年寄りまで家族で楽しめる」というコンセプトは変わりません  
ぜひ特設webサイトに遊びに来てください



手洗い啓発ポスターをデザイン！

岩教大の学生が作った手洗い啓発ポスターです。まなみーる市民会館・文化センター(9西4)やi-BOXなどに掲示されています。

新型コロナウイルス感染症が流行する中で、「自分にはどんなことができるのか」を考える機会が増えました  
次第に「考えるより行動だ！」と思い、一気にデザインを作り上げました



美術文化専攻 彫塑研究室 金野 佑海 さん

スポーツ教育学研究室  
やまもと りひと  
山本 理人 教授

学生たちは、芸術、文化、スポーツ活動に取り組み、音楽、美術の高度な芸術センスや、卓越したスポーツ技能を生かし、まちづくりに大きく貢献しています。

※左の写真は、これまでの「あそびプロジェクト」の様子です。